

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		千客万来・アクティブ商店街事業				整理番号	139		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501	連絡先電話番号	3073		昨年度整理番号	136	
係名		商工係			上位施策名				No		
予算事業名		千客万来・アクティブ商店街事業		コード	15850	魅力ある商店街づくり				45	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区千客万来・アクティブ商店街事業補助金交付要綱						
	商店街組合、商店会				(2)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				(3)						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 商店街が提案する意欲的で工夫とアイデアが活かされた商店街活性化のための事業計画が、助成目的に適合するか審査会において審査し、承認する。計画事業の詳細を確認したうえで補助金を支出し、計画事業が終了したときには実績報告書の提出を義務付けている。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 商店会が自ら考え、また、外部の知恵を借り、自らの責任において実施する新たな商店街振興事業に対し、必要な助成を行い、個性的で魅力ある商店街づくりが行われることにより、地域経済の活性化を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 申請した事業件数				(1) 申請を希望した延べ商店会数に対する申請率							
(2) 申請を希望した延べ商店会数				(2) (代) 事業実施商店会の組織率(会員数) ÷ (商店数)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	7	2	7	1	7	6	16.7	
	活動指標(2)		件	11	8	10	7	7	10	70.0	
	成果指標(1)		%	64	25	67	14	100	60	23.3	
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	44,045	27,602	50,460	294	56,960	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.88	1.39	1.20	2.27	2.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	16,909	12,649	10,872	20,566			19,932
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	60,954	40,251	61,332	20,860	76,892			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	8,707,714	20,125,500	8,761,714	20,860,000	10,984,571			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	60,954	40,251	61,332	20,860	76,892				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		千客万来・アクティブ商店街事業審査会謝礼				1	回	160			
		関連書籍購入費				130	冊	94			
		郵送料				144	通	40			
		その他 ( )						0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	14.3	活動指標(2)の17年度達成率%	70.0	17年度予算執行率%	0.6
		5件の計画事業の枠に対し、1件の申請があり、審査会を実施、採択したが途中で断念したため、補助金の支出はなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		商店街の力だけでは限界があり、本事業の申請数、実施数とも減少している。本年度からは外部の発想も取り入れる「外部提案活用型事業」の開始し、商店街の活性化に取り組んでいる。また、既に補助を終了した商店街に対し「継続支援型事業」を実施し、取り組んでいる事業の更なる発展も支援する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く景気低迷を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き厳しい状況であり、14年度までの3年間で商店数・商店従業者数・年間販売額とも減少している。 区内商店数(か所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	1事業1,000万円という事業規模は、大規模商店街でなければ計画化や実施が困難な規模であり、中小商店会にとっても申請しやすい制度にして欲しい。また、計画が採択され、実際に事業を実施した場合、状況の変化により計画補助期間以降の事業の継続性が難しくなる場合がある。					
	今後の予測	チェーン店の進出、商店会会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担うべき人材不足が深刻化しており、商店会の地域コミュニティ活動への影響も懸念される。しかし、一方では、地域住民やNPO等とともに本事業を活用し、商店街と地域とを活性化しようとする働きも高まりつつある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 商店会会員の意識改革を図る契機となっており、何か一つのものに取り組むことで、商店会が一つにまとまることになるが、補助金終了後、事業を継続することが難しい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 平成18年度より開始した継続支援型事業を実施することにより、補助期間終了後に新たな補助金を投入し事業を継続できるようにする。また、千客万来事業の補助金や区のアドバイザー派遣事業を利用し、専門家の知識を取り入れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 補助金終了後も事業を継続するため、補助期間中も積極的に商店会の経費を投入し、補助金に依存することのない事業運営を実施するよう指導する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 補助期間終了後も事業を継続するため、当初の計画からコストなどを最小限にするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を図っていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 各商店街が特徴のある商店街作りを推進した結果、マスコミなどで取り上げられる商店街もあり、多くの商店街の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方、補助金交付事業であるため、補助機関終了後の維持運営が難しく、事業を終了した商店街もあり継続性という点が課題である。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 外部提案型事業や継続支援型事業など、より商店会が利用しやすい事業を開始した。年々減少している申請数を少しでも回復できるよう期待されるが、新制度の実施状況を見ながら、随時見直しを行いより充実を図る。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 本年度より「外部提案活用型事業」と「継続支援事業」を新たに開始した。平成19年度も引き続き実施し、商店街の活性化を引き続き支援していく。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		魅力ある商店街づくり助成				整理番号	142		枝番号			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501		連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	139	
係名				商工係		上位施策名				No		
予算事業名				商店街振興総合対策		コード	15850		魅力ある商店街づくり		45	
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		63 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱					
	区内商店会など						(2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業費補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とするための商店会の活動に対し、指導・助成を行う。		(3) 東京都新・元気を出せ！商店街事業費補助金交付要綱					
活動指標名(式)				(1) 事業対象商店会数		(2)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
								商店街を単なる買い物場から、地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とし、商店街の魅力を高め、集客力の向上を図る。				
								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
								(1) 総商店会数に対する事業対象商店会の率				
								(2)				
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績		22年度				
指標	活動指標(1)		件	10	12	6	2	4	6	33.3		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	7	9	4	1	3	4	25.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,604	6,586	5,650	2,263	44,920	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.94	0.62	0.46	0.49	0.46				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,454	5,642	4,168	4,439				4,168
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	13,058	12,228	9,818	6,702	49,088				
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,305,800	1,019,000	1,636,333	3,351,000	12,272,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	13,058	12,228	9,818	6,702	49,088					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		高円寺北中通り商栄会 ホームページ作成					1	式	163			
		新高円寺通商店街振興組合 施設整備設計					1	式	2,100			
		その他 ( )							0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	33.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	40.1
ホームページ事業実施商店会数、及び事業費の減等。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
18年度は施設整備事業数及び事業費の増加により予算増となっている。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各商店会の魅力を高め、集客力を向上させるため本事業を活用している。しかし、長期化した景気の低迷の影響などにより商店会の衰退傾向は否めない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	商店街の施設整備事業は商店街活性化のみならず、商店街利用者や地域住民等にも影響を与えることから区民の期待・関心が高い。				
	今後の予測	商店街会員の高齢化・後継者不足、大型店や量販店の進出など商業環境の変化は今後も続き、商店街には厳しい状況が続くと考えられる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )		理由: 施設整備事業助成や情報化推進事業助成については、商店街をハード・ソフト両面から支援する事業であり、魅力ある商店街づくりへの貢献は大きい。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )		理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 商店会の自己負担を伴う事業であり、特に施設整備事業は事業費が多き事業である。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業			
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )		協働等による成果と課題 成果 事業費の2/3を区が補助することにより商店街の負担を軽減し、事業の推進を促している。 課題 ホームページを作成している商店会数が全商店会数の1/4にも満たないなど事業の活用が不十分なので、商店会に積極的に働きかけていく必要がある。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 アーケード及びアーチの老朽化による建替えや新規に商店街のカラー舗装を希望する商店会があり、必要な事業であると考える。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 アーケード改修やカラー舗装を希望する商店会数の増。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		元気をさせ商店街事業				整理番号	143		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501	連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	140	
係名		商工係			上位施策名				No		
予算事業名		商店街振興総合対策		コード	15850	魅力ある商店街づくり				45	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内商店会及び商店会で構成された連合会				根拠法令等 (1) 杉並区「元気をさせ商店街事業費補助金交付要綱」 (2) 東京都新「元気をさせ！商店街事業費補助金交付要綱」 (3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 商店会などが実施するイベント事業に対し、必要な補助を行う。 ・補助対象経費100万円以下の事業 都2/3以内 ・補助対象経費100万円超の事業 2/3以内(都1/3 区1/3) 限度額300万円以内				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） イベント事業により、商店街の集客力向上を図り、活性化し、魅力ある商店街とする。						
	活動指標名(式) (1) 補助対象イベント数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 商店会イベント開催数 (2)						
	区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	74	78	81	75	88	90	83.3	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	74	78	81	75	88	90	83.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	62,277	61,829	93,348	63,966	97,092	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.53	1.00	0.73	0.76	0.73			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,767	9,100	6,614	6,886	6,614		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	67,044	70,929	99,962	70,852	103,706			
	単位あたりコスト( - )÷		円	906,000	909,346	1,234,099	944,693	1,178,477			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	37,965	36,500	54,824	37,635	53,965		
特定財源計 +		千円	37,965	36,500	54,824	37,635	53,965				
差引:一般財源 -		千円	29,079	34,429	45,138	33,217	49,741				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		方南銀座商店街振興組合 「方南演歌まつり」				5,500	人	2,249			
		西武井荻商店街振興組合 「井荻まつり」				1,000	人	1,060			
		永福町駅北口商和会 「いずみ納涼まつり」				2,300	人	1,112			
		阿佐谷商店街振興組合 「阿佐谷七夕まつり」				600,000	人	3,000			
		その他 ( )						56,545			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	92.6	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	68.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		イベント事業の補助金審査にあたっては、適正に補助金が執行されるように対象経費等について区と都が厳格に審査を行うことから、予算額と確定額に差額が出るケースが多い。また、補助金の交付申請後にイベントを中止する商店会があることも未執行額がでる原因である。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各商店会の魅力を高め、集客力を向上させるため本事業を活用している。しかし、商店会の衰退傾向は否めない。区内商店数 昭和63年 1,044,425所 平成11年1,239,945所 平成14年 1,218,865件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金の対象経費を増やしてほしい。提出書類を簡素化してほしい。					
	今後の予測	イベント事業に対する補助金の需要は高く、18年度の申請件数は昨年度よりも増加している。今後も商店会の本事業に対する要望は強いものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: イベント実施が一定の集客力アップに繋がることは確実であり、一時的にも商店会の活性化になっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 費用の面では十分な補助であると考えられる。 理由または具体的内容: 補助金の活用主体は商店会であることから、補助金が有効に活用され、費用対効果が上がるよう、商店会と連絡を密にする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 成果 イベント事業費の2/3(上限額300万円)を区が補助している。イベント開催は商店会の集客力を高め、活性化に役立っている。 課題 イベント内容がマンネリ気味の商店会が見られるので、内容の見直しを進めていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 都の間接補助事業(新・元気をさせ！商店街事業)と連携しており、区単独で事業変更・改革していくことは困難である。引き続き各商店会で有効に補助金を活用できるよう、都と区と商店会で情報交換等を積極的に行い連携を密にしていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 (1)に同じ。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 18年度の件数は17年度より若干増加しているが、過去数年の件数を見るとほぼ横ばいであり、19年度に大きな変化はないものと思われる。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯への助成				整理番号	147		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	51501	連絡先電話番号	3075		昨年度整理番号	144	
係名		商工係			上位施策名				No		
予算事業名		商店街装飾灯助成		コード	16900	魅力ある商店街づくり				45	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例						
	装飾灯、アーチ等を維持管理している商店会				(2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の商店街に建設された装飾灯の維持管理経費(電気料、美化費、修繕費)に対し、その費用の一部助成を行う。				(3)						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 電気料助成商店会数				商店会が負担している装飾灯維持管理経費のうち、装飾灯を維持し道路に必要な照度を保つための費用(交通安全・防犯等の役割分)を助成することにより、活力と賑わいのある商店街としての基盤を強化する。							
(2) 維持管理費助成商店会数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) (代)電気料助成率(助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)							
				(2) (代)維持管理費助成率(助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	125	123	122	122	122	122	100.0	
	活動指標(2)		件	126	118	122	119	122	122	97.5	
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,995	28,820	45,444	44,145	49,066	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.76	0.54	0.55	0.58	0.55			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,835	4,914	4,983	5,255			4,983
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	35,830	33,734	50,427	49,400	54,049			
	単位あたりコスト( - )÷		円	286,640	274,260	413,336	404,918	443,025			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	35,830	33,734	50,427	49,400	54,049				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		電気料助成					122	団体	30,474		
		維持管理費助成					119	団体	13,671		
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	97.5	17年度予算執行率%	97.1
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	装飾灯の電気料について、平成16年度までは、区有灯の設置基準に準じて、装飾灯が設置されている道路延長に対し、30メートルで除した数を助成対象数の基本としていたが、商店会によって助成率の格差が大きくなっていったため、平成17年度から全灯を助成対象とした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く景気低迷を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き厳しい状況であり、14年度までの3年間で商店数・商店従業者数・年間販売額とも減少している。また、商店会数はわずかながら減少傾向にある。 区内商店数(か所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865(商業統計調査)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	装飾灯のポールの塗り替えや移設費用など様々な維持管理費用に対しても助成して欲しい。また、商店街のアーケードやアーチの照明に対しても助成を増額して欲しい。				
	今後の予測	すでにほとんどの商店会は装飾灯を建設済みであるが、商店会を取り巻く厳しい環境の中、装飾灯の建替えができず老朽化が進んでいるところが多くなっており、保守経費が増大していくことが考えられる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 商店街装飾灯の維持のために商店会に対して助成することは、商店会の発展に寄与するとともに、安全・安心の街づくりに貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 毎年度、対象となる全ての商店会に対して助成をしているため。  理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区で助成単価を決めており、それ以外の経費は商店会が負担している。財政状況が厳しい商店会に対してさらなる負担を求めることはできない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 商店街振興・交通安全・防犯上、装飾灯は重要であり、適正に助成をしていることからコストを下げる余地はない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 商店街の装飾灯の電気料を助成することにより、夜間も安心して歩けるまちづくりに貢献している。また、装飾灯の修繕費、美化費を助成することにより、まちの美観の向上、にぎわいの創出に貢献している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き同様の内容で、電気料・修繕費・美化費助成を行う。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 引き続き同様の内容で、電気料・修繕費・美化費助成を行う。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯建設助成				整理番号	148		枝番号			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501	連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	145		
係名					商工係		上位施策名			No		
予算事業名					商店街装飾灯助成		コード	16900		魅力ある商店街づくり	45	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例					
	商店会等						(2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区有灯の代替として商店会が設置する装飾灯の新設や建替え等に係る建設費用の一部を助成する。		(3)					
活動指標名(式)				(1) 装飾灯建設助成基数 (2) 装飾灯建設助成対象商店会数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路に必要な照度を維持し、歩行者の安全を確保するとともに、商店街の賑わいを演出する。						
成果指標名(式)				(1) 装飾灯総本数に対する助成本数の率 (2) 商店会総数に対する助成対象商店会数の率		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 装飾灯総本数に対する助成本数の率 (2) 商店会総数に対する助成対象商店会数の率						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		基	11	40	100	115	47	100	115.0		
	活動指標(2)		件	1	3	4	5	2	4	125.0		
	成果指標(1)		%	1	1	1	1	1	1	100.0		
	成果指標(2)		%	1	2	3	3	1	3	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,733	4,971	50,250	24,206	1,872	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.29	0.35	0.38	0.41	0.38				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,608	3,185	3,443	3,715			3,443	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	4,341	8,156	53,693	27,921	5,315				
	単位あたりコスト( - )÷		円	394,636	203,900	536,930	242,791	113,085				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	4,341	8,156	53,693	27,921	5,315					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			富士見丘商店会 装飾灯建替え				44	基	9,442			
			今川町商栄会 装飾灯建替え				33	基	5,642			
			高井戸駅前商店会 装飾灯建替え				31	基	7,442			
			上井草商店街振興組合 装飾灯増設				3	基	924			
			その他 ( )						756			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	115.0	活動指標(2)の17年度達成率%	125.0	17年度予算執行率%	48.2
建設費の1/3が商店会の負担で負担金額が大きいことから、財政力に余裕のない商店会では修繕・メンテナンスがまめに行なわれ、建て替えを実施する商店会が増えない状況であり、補助金の支出が抑えられている。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
平成17年度から装飾灯建設費用全額の2/3以内を助成対象とし、実施した。(平成16年度までは、装飾灯が設置されている道路延長に対し30メートルで除した数を助成対象の基本としていた。)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初から平成17年度まで、商店会から本事業に対する申請件数はほぼ毎年3件程度あり、大きな変化は見られない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	老朽化のため安全面等から建替えなければならない装飾灯があるので、本事業は必要。				
	今後の予測	建設後15年以上経過し建替える必要のある装飾灯があるので、来年度以降も年に数件、本事業に対する申請が予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )		理由: 商店会への集客力の増だけでなく、利用者、通行人の安全にも寄与している。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )		理由または具体的内容: 補助対象商店会への申請働きかけ			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 都と区の補助金交付事業			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容: 都と区の補助金交付事業			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )		協働等による成果と課題: 成果 区から装飾灯建設費の2/3を商店会に助成することにより、商店会の装飾灯建替への負担を軽減している。 課題 老朽化して安全性等に問題がある装飾灯があるので、商店会に建替えを働きかける必要がある。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度から商店会の負担が従来より減少したことを商店会に積極的にPRし、装飾灯の建替え年数に到達している商店会は建替えを促していく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 本事業の利用希望商店数が来年度大幅に増える見込みなし。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		産業・観光まつり補助				整理番号	149		枝番号			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051502		連絡先電話番号	3075		昨年度整理番号	147	
係名					産業・就労支援係			上位施策名		No		
予算事業名					産業・観光振興			コード		17100	魅力ある商店街づくり	45
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		47年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第232条の2					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				阿佐谷七夕まつり(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) 東京高円寺阿波おどり(主催:東京阿波踊り振興協会)		(2) 杉並区観光事業補助金交付要綱					
	事業経費の一部補助						(3)					
活動指標名(式)				(1) 事務経費補助団体数 (2) 助成事業関連商店街数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。						
成果指標名(式)				(1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり (2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり (2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		団体	2	2	2	2	2	2	100.0		
	活動指標(2)		団体	4	4	4	4	4	4	100.0		
	成果指標(1)		万人	55	60	70	60	70	70	85.7		
	成果指標(2)		万人	120	120	120	120	120	120	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,987	3,500	3,500	3,500	4,500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.10	0.20	0.24	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,799	910	1,812	2,174	1,812			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	5,786	4,410	5,312	5,674	6,312				
	単位あたりコスト( - )÷		円	2,893,000	2,205,000	2,656,000	2,837,000	3,156,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	5,786	4,410	5,312	5,674	6,312					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		阿佐谷七夕まつり補助					1	団体	1,500			
		東京高円寺阿波おどり補助					1	団体	2,000			
		その他 ( )							0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	100.0
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	高円寺阿波おどりは今年50回目となる。また、昨年度より開催日程が日付固定から8月最終の土・日曜日に変更となった。18年度は50周年記念大会及び開催日が週末となるので、観客の増が予想される。それに伴う警備の強化も不可欠であるため、18年度予算は100万円の増となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	いずれも販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、都を代表するイベントのひとつとなった。七夕まつりについて、飾りつけは一時の華やかさに欠けるが、集客力は引き続き高い。高円寺阿波おどりは観光化しているが、地元商店街の販売額の伸びには結びついていない。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	七夕まつりについて、飾り付けのリサイクルを配慮すべきである。 高円寺阿波おどり大会について、ごみ、騒音、交通など、住民の苦情が多い。				
	今後の予測	高円寺阿波おどりは週末開催に伴う安全確保のため警備の強化が求められている。今後、安全確保のため踊りコースの変更も予定されている。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: いずれのイベントも区内だけではなく、東京を代表するまつりに発展し、観光・産業の発展に寄与している。特に七夕祭は商店街も活性化している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 主催者・関係機関との協議の中で観光事業としての成果向上はある程度可能。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: いずれも観光への補助事業であるため受益者負担の概念になじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 観光事業助成としては現状が適切だが、安全で環境に配慮したイベントを実現するためには、さらなる費用面での検討が必要である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 主催団体をはじめ、警察、消防などイベントに関わる他の団体との部分的な協働は実現している。高円寺阿波おどりは、昨年主催団体の「東京高円寺阿波おどり振興協会」がNPO法人化したこともあり、今後は特に保安・警備・環境面に関して総合的に連携していけるよう、自主的な活動を一層促す必要がある。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 主催者や関係機関との協議を進め、保安や環境配慮などの整備をすすめる。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱である。区としては主催者に最大限の自助努力を促し、区と主催団体の役割分担を明確にするとともに、適切な助言・指導を行う。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 区内商業振興の観点から補助としては現状が適当である。ただし、祭りを観光資源としてPRしていくためには今まで以上の安全の確保、地域住民への生活への配慮など、主催団体を始とするイベント実施体制の整備を行う必要がある。そのため、イベントの安全実施などについての経費補助について検討する。					